

# エスティの 国際交流コーナー



## （ お盆の正しい 過ごし方 ）

皆さん、お久しぶりです。

ようやくさわやかな風が吹き始め、秋になりました。皆さんはお盆休みを楽しく過ごしましたか。

私がイスラエルの大学で日本語を勉強していたとき、最初の2年間は、ある大学の留学生の生活を描いた教科書を使いました。その本の中では、お盆の話も取り上げられていました。内容は、留学生の一人(タイのマナさんだっと思います)が、お盆の休暇に日本人の友達の実家へ誘われました。お盆のときは多くの人が都会から実家へ帰り、道路や電車が込みますので、早めに出発して、友達の実家へ行きました。お盆の行事としては、町内の広場での盆踊りや、きゅうりとナスから馬と牛を作ることが簡単な日本語で説明されていました。

その教科書の話を読んでから「お盆」をそのような風に想像していましたが、以前暮らした京都での2年間は、それを体験する機会がありませんでした。京都での8月の行事としては、大文字の送り火を見に行きました。しかし、去年八百津町へ来たとき、ちょうど8月初めでしたので、自己紹介を兼ねて八百津の各地区の夏祭りを回り、盆踊りや花火などを楽しみました。



今年のお盆の週末に私の友達3人が八百津を訪ねてきました。2人は南米のコロンビア出身で、京都大学の博士修了者、もう一人はマレーシア人で、彼女も現在京都大学で博士課程在籍中です。



4人で八百津の自然を楽しむために五宝滝、めい想の森、フレンドリーパークおおひら、人道の丘を回りました。夜には、福地の夏祭りを見に行きました。私は去年福地小学校を何度も訪ねたことがありますので、久しぶりに子どもたちや先生たちに会えてよかったです。友達にとっても、このような地元の祭りは珍しい体験だったと思います。京都の祭りはいつも込み合い、混雑のため何も見えない状態です。福地では子どもたちと一緒に金魚すくいや輪投げに挑戦して、素敵な花火を間近で見ることができました。そして、アフリカの太鼓とダンスの公演があって、全く国際的なイベントになっていました。

外国人が体験する機会の少ない地元の夏祭りを、今年も八百津で過ごせて嬉しかったです。